

## 議案—1

### 国際港湾協会日本会議 令和2年(2020年)度事業報告

令和2年(2020年)4月1日から令和3年(2021年)3月31日までに、行った事業は、次の通りであった。

#### 1. 国際港湾協会総会への参加

令和2年(2020年)3月に、ベルギー国アントワープ港で開催予定だった国際港湾協会総会は、新型コロナウイルス感染回避のため、開催されなかった。

#### 2. 第22回理事会の開催

第22回理事会を、次の通り開催した。

- 1) 開催日 令和2年7月28日(火曜日)
- 2) 開催場所 ニューピア竹芝サウスタワー4階A会議室
- 3) 議案内容
  - 議案—1 令和元年度 事業報告
  - 議案—2 令和元年度 収支決算及び監査報告
  - 議案—3 令和2年度 事業計画
  - 議案—4 令和2年度 収支予算
  - 議案—5 国際港湾協会日本会議の役員を選任  
報告 次期国際港湾協会総会の開催について

#### 3. 第19回総会の開催

第19回総会を、次の通り開催した。なお、新型コロナウイルス感染回避のため、総会出席者は理事会出席理事のみとし、その他の会員は、出席をご遠慮いただき、あらかじめ総会議案資料を送付の上、議案に対し、書面表決により議決した。

- 1) 開催日 令和2年7月28日(火曜日)
- 2) 開催場所 ニューピア竹芝サウスタワー4階A会議室
- 3) 議案内容
  - 議案—1 令和元年度 事業報告
  - 議案—2 令和元年度 収支決算及び監査報告
  - 議案—3 令和2年度 事業計画
  - 議案—4 令和2年度 収支予算

議案—5 国際港湾協会日本会議の役員の選任  
報告 次期国際港湾協会総会の開催について

4. 国際港湾協会日本会議連絡会の開催及び国際港湾協会協力財団との共催による IAPH 日本セミナーの開催

1) 国際港湾協会日本会議連絡会

国際港湾協会日本会議連絡会を、オンライン方式で次の通り行った。

開催日時 令和2年11月4日(水曜日)14時から14時45分

議題 ①IAPHの最近の動向及び組織改編報告

②2021年IAPHアントワープ総会の案内

2) 国際港湾協会協力財団との共催 IAPH 日本セミナー

国際港湾協会日本会議連絡会に引き続き、国際港湾協会協力財団との共催で IAPH 日本セミナーをオンライン方式で次のように実施した。

開催日時 令和2年11月4日(水曜日)15時から17時

セミナー内容

開会挨拶 公益財団法人国際港湾協会協力財団会長 中尾成邦

講演1 船舶環境指数 (Environmental Ship Index: ESI) プログラムの  
新たな運用について 国際港湾協会 事務総長 古市正彦

講演2 COVID-19 感染拡大が港湾に与えた影響  
国際港湾協会 事務局次長 竹村 淳一

講演3 COVID-19 感染拡大の海運へ与えた影響  
公益財団法人国際港湾協会協力財団 富田就将

5. 機関誌「IAPH 日本フォーラム」の発行

機関誌を、以下の通り発行した。

1) IAPH 日本フォーラム第49号

① 発行月 令和2年(2020年)7月

② 掲載内容

● 巻頭言 公益社団法人日本港湾協会理事長 須野原 豊

● 国際港湾協会の最近の活動 国際港湾協会事務総長 古市 正彦

- 東京港埠頭株式会社からの報告 東京港埠頭株式会社社長 服部 浩
- 「Ports & Harbors」1019年9月10月号及び2019年11月12月号掲載文献の紹介(11篇)

## 2) IAPH 日本フォーラム第50号

- ① 発行月 令和2年(2020年)11月
- ② 掲載内容
  - 巻頭言 石狩湾新港管理組合 専任副管理者 別所 博幸
  - 国際港湾協会の最近の活動 国際港湾協会事務総長 古市 正彦
  - 令和2年度国際港湾協会日本会議総会報告日本会議事務局長西島浩之
  - 静岡県からの報告 静岡県交通基盤部 港湾局長 福元 正武
  - 「Ports & Harbors」2020年1月2月号及び2020年3月4月号掲載文献の紹介(11篇)

## 3) IAPH 日本フォーラム第51号

- ① 発行月 令和3年(2021年)3月
- ② 掲載内容
  - 巻頭言 一般財団法人国際臨海開発研究センター理事長 三宅 光一
  - 国際港湾協会の最近の活動 国際港湾協会事務総長 古市 正彦
  - 北九州市からの報告 北九州市港湾空港局長 辻 誠治
  - 国際港湾協会日本会議の最近の活動 国際港湾協会事務局長西島浩之
  - 「Ports & Harbors」(2020年5月6月号及び2020年7月8月号)掲載文献の紹介(10篇)

## 6. 会員拡大、その他

近年、国際港湾協会日本会議会員が、様々な理由で、減少してきた。令和2年度は、会員拡大に努めた。菊池理事のご尽力をはじめ、関係者のご努力で、令和元年度末、正会員38会員、個人会員30会員に対し、令和2年度末は、正会員39会員、個人会員36会員で令和元年度と比較し、正会員1会員、個人会員6会員、合計で7会員の増加を図ることができた。国際港湾協会本部事務局への支援活動を継続して行った。